



2023年6月26日

各 位

会社名 アンジェス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山田 英  
(コード：4563 東証グロース)  
問合せ先 広報・IR グループ  
<https://www.anges.co.jp/contact/>

## 新株予約権発行に係る資金使途の一部変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年3月8日付「第41回新株予約権（第三者割当て）（行使価額修正条項付）の募集に関するお知らせ」（以下「第41回発行時お知らせ」といいます。）及び2022年9月26日付「新株予約権発行に係る資金使途の一部変更に関するお知らせ」（以下「第41回資金使途変更のお知らせ」といいます。）にて公表いたしました、当社第41回新株予約権（第三者割当て）（行使価額修正条項付）（以下「第41回新株予約権」といいます。）の発行及びその行使により調達した資金の具体的な使途について、また、2022年9月26日付「第42回新株予約権（第三者割当て）（行使価額修正条項付）の募集に関するお知らせ」（以下「第42回発行時お知らせ」といいます。）にて公表いたしました、当社第42回新株予約権（第三者割当て）（行使価額修正条項付）（以下「第42回新株予約権」といいます。）の発行及びその行使により調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期について、それぞれ下記のとおり変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 変更の理由

#### ①第41回新株予約権の資金使途について

第41回新株予約権の発行及びその行使により調達した資金については、「第41回発行時お知らせ」及び「第41回資金使途変更のお知らせ」において開示しましたとおり、(i)当社の子会社である米国 EmendoBio Inc.（所在地 400 W 61st St, #2330 New York, NY USA CEO David Baram）（以下「Emendo 社」といいます。）の運営資金（発行時における調達予定資金の額 9,000 百万円）、(ii)さらなる事業基盤拡大のための資金（発行時における調達予定資金の総額約 7,832 百万円）（内訳：(a)海外企業の買収や資本参加による事業基盤拡大（発行時における調達予定資金の額 6,832 百万円）、及び(b)その他の手段による事業基盤拡大（発行時における調達予定資金の額 1,000 百万円）を調達することになりました。なお、第41回新株予約権の発行及びその行使により現に調達した資金の金額は、発行時における調達予定資金の総額約 16,832 百万円を約 544 百万円上回るものでした。

但し、Emendo 社の運営資金については、最先端のプラットフォーム技術加速のための研究開発費用の増加、設備投資実施により支出予定時期を約 1 年間前倒ししております。具体的には、Emendo 社は新たなゲノム編集ツールを作出する技術（OMNI Platform）を活用し、ELANE 関連重症先天性好中球減少症（SCN）を対象に、米国 FDA へ治験届を提出するための有効性・安全性を担保するデータの収集及び治験用のゲノム編集ツールの製造等の準備を進めるために、設備投資で約 400 百万円、残りはマンパワーの増強等による研究開発費が増加しております。また、海外企業の買収や資本参加による事業基盤拡大については、2022 年 11 月にイスラエルのマイクロバ

イオームを研究している MyBiotics Pharma Ltd. の転換社債約 74 百万円を引き受け、2023 年 3 月に新型コロナウイルス感染症治療薬を開発している Vasomune Therapeutics Inc. に優先株約 273 百万円を出資し、未充当額は 2,685 百万円となっています。海外投資案件は引き続き検討してまいりますが、現時点では具体的な案件や進捗が無く、一方、国内の事業拡大も引き続き図っていく必要がありますので、2023 年 7 月以降の運転資金 1,500 百万円を、上記(ii)の当社の運転資金に充当することにいたしました。なお、上記(i)から(ii)の各使途についての支出予定時期については変更はありません。

なお、上記(ii)(b)に係る新たな案件による資金需要が発生した場合には、一時的にこれまで調達した手元資金を充当するほか、自社製品における新規提携先確保による契約一時金の調達、既存提携先との契約内容見直しによる中間金(マイルストーン)の前倒しでの確保及び株式市場やマーケット状況を勘案しエクイティ・ファイナンスによる資金調達等の施策を講ずるなど、当該時点における最適な方法によりその資金の調達又は確保を検討する予定です。

## ②第 42 回新株予約権の資金使途について

第 42 回新株予約権については、第 42 回発行時お知らせにおいて開示しましたとおり、(i)当社の子会社である米国 Emendo 社の運営資金(発行時における調達予定資金の額 6,000 百万円)、並びに(ii)事業基盤の強化のための資金(発行時における調達予定資金の総額約 2,510 百万円)(内訳：(a)HGF 遺伝子治療用製品のグローバル展開に対応可能な製法、生産プロセスの効率化を企図する研究開発費用(発行時における調達予定資金の額 1,000 百万円)、及び(b)新規製品・プロジェクトの獲得による事業基盤の強化、既存開発品の適応症拡大・グローバル展開(発行時における調達予定資金の額 1,510 百万円))の各使途に係る資金を調達することを目的としておりました。第 42 回新株予約権の発行及びその行使により現に調達した資金の金額は約 4,599 百万円であり、発行時における調達予定資金の総額約 8,510 百万円を約 3,911 百万円下回るものでした。なお、2023 年 4 月 24 日付「第 42 回新株予約権(第三者割当て)(行使価額修正条項付)の取得及び消却に関するお知らせ」において開示いたしましたとおり、発行した第 42 回新株予約権 380,000 個のうち 341,500 個が行使されましたが、株価下落により、当社は 2023 年 5 月 9 日に残存する第 42 回新株予約権(38,500 個)をすべて取得し消却しております。

そこで、当社といたしましては、第 42 回新株予約権の発行及びその行使により調達した資金については、Emendo 社における ELANE 関連重症先天性好中球減少症のゲノム編集治療、有害機能を獲得した遺伝子を確実に削除するためのゲノム編集戦略、新規ゲノム編集ツールの探索技術(OMNI Platform)等の研究開発費用、人件費等のために充当することとしました。もっとも、実際の調達額が Emendo 社の運営資金に係る発行時の調達予定金額よりも少ない金額となったため、Emendo 社の人件費も含めた運営費用の見直しを行っており、かかる見直しの中で運営費用の支出のスケジュールについても再検討し、その結果、支出予定時期についても、1 年後ろ倒しにし、2023 年 1 月から 2024 年 12 月までといたしました。なお、具体的には、最先端のプラットフォーム技術の開発を加速するための研究開発費用及び ELANE 関連重症先天性好中球減少症(SCN)を対象として、米国 FDA(米国食品医薬品局(Food and Drug Administration))へ治験届を提出するための準備を進めるための研究開発費に充当されることとなります。

なお、事業基盤の強化のための資金につきましては、当面これまでの資金調達による手取金を原資とした資金を充てるほか、当該時点における最適な方法による資金調達により賄う想定です。

## 2. 資金使途変更の内容

### ①第 41 回新株予約権について

[変更前]

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
Emendo 社の運営資金	9,000	2021年3月～2022年12月
運転資金	<u>3,800</u>	2022年10月～2023年12月
海外企業の買収や資本参加による事業基盤拡大	<u>3,032</u>	2021年7月～2025年6月
その他の手段による事業基盤拡大	1,544	2021年7月～2025年6月
合計	17,376	

[変更後]

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
Emendo 社の運営資金	9,000 (0)	2021年3月～2022年12月
運転資金	<u>5,300</u> (1,500)	2022年10月～2023年12月
海外企業の買収や資本参加による事業基盤拡大	<u>1,532</u> (1,185)	2021年7月～2025年6月
その他の手段による事業基盤拡大	1,544 (473)	2021年7月～2025年6月
合計	17,376 (3,158)	

(注)1. 上記の金額欄の括弧書きの数値は現時点における未充当額となります。

2. 「海外企業の買収や資本参加による企業基盤拡大」について、具体的な進捗が無いため、その資金の一部を検査事業の拡大に伴う器具・備品の購入、原薬の購入及び開発中の製品の開発中止に伴い臨時で発生した業務委託費など一時的に増加した「運転資金」に割り当てております。

### ②第 42 回新株予約権について

[変更前]

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
①Emendo 社の運営資金	<u>6,000</u>	2023年1月～2023年12月
②事業基盤の強化のための資金 (内訳)	<u>2,510</u>	2022年10月～2025年12月
(a) HGF 遺伝子治療用製品のグローバル展開に対応可能な製法、生産プロセスの効率化を企図する研究開発費用	<u>1,000</u>	
(b) 新規製品・プロジェクトの獲得による事業基盤の強化、既存開発品の適応症拡大・グローバル展開	<u>1,510</u>	

[変更後]

	金額（百万円）	支出予定時期
①Emendo 社の運営資金	<u>4,599</u> <u>(3,937)</u>	2023年1月～ <u>2024年12月</u>
②事業基盤の強化のための資金 （内訳）	<u>0</u>	＝
（a） HGF 遺伝子治療用製品のグローバル展開に対応可能な製法、生産プロセスの効率化を企図する研究開発費用	<u>0</u>	
（b） 新規製品・プロジェクトの獲得による事業基盤の強化、既存開発品の適応症拡大・グローバル展開	<u>0</u>	

(注) 上記の金額欄の括弧書きの数値は現時点における未充当額となります。

### 3. 今後の見通し

本資金使途の変更による当社連結業績への影響は軽微であります。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。